

平成 30 年度末下水道革新的技術実証事業評価委員会の結果について

○ICT を活用した総合的な段階型管路診断システムの確立にかかる実証事業（クリアウォーター OSAKA・日本下水道事業団・大阪市共同研究体）

概ね計画通り進められており、当初の目的に対して一定の成果が得られた。

今後は、劣化予測システムの精度向上や効率化に留意した検証の継続、硫化水素調査や不明水調査の更なる検証に必要なデータの取得等が必要なことから、平成 31 年度も引き続き研究を実施し、ガイドライン化を図ることが望ましい。